

徳島市中心市街地等LED景観整備基本計画

全体及びエリア毎の整備コンセプト方針

令和6年5月

目次

第1章	夜間景観形成整備コンセプト	
	夜間景観コンセプト・光環境ゾーニング	02
	LED 景観整備基本計画 全体整備コンセプト・デザイン方針	04
第2章	エリア別の整備方針	
	阿波おどり会館・眉山ロープウェイ	06
	新町川・阿波製紙水際公園	08
	しんまちボードウォーク	10
	新町橋東公園	11
	両国橋西公園	12
	両国橋東公園	13
	新町川沿い照明整備イメージ	14
	紺屋町シンボルロード	16
	両国橋南商店街	18
	新町西地区市街地 再開発エリア（川の駅、憩いのスペース）	20
	眉山展望台・眉山公園	22
	眉山公園	24
第3章	今後の方向性	
	計画の推進	26
	整備スケジュール	27



「藍を灯す、水都とくしま」

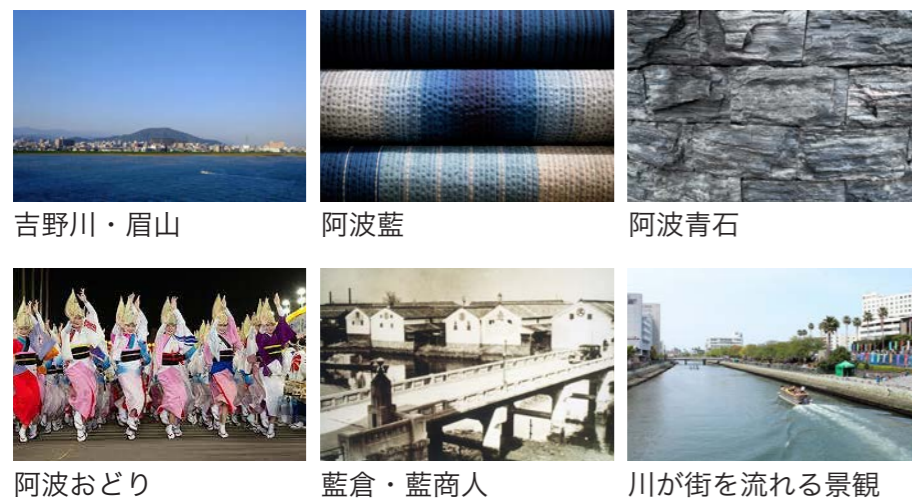
品格とにぎわいのある夜間景観を創出する

夜間景観コンセプト 品格とにぎわいのある夜間景観を創出する

国内外のにぎわいのある観光都市には海辺や河川を有する美しい水景が身近にあります。県外の方が徳島市に持つ印象は阿波おどりのイメージが強く「水都とくしま」の印象は定着していません。しかし、緑豊かな眉山を背景にして吉野川をはじめ134本の川が街を流れる自然景観、かつて藍商人が新町川沿いに藍倉を構え、日本各地へと交易し栄えた街の発展や歴史・文化は市民の誇りであり、徳島市を世界に発信できる高いポテンシャルを持つ景観要素として考えられます。

本計画では、良好な夜間景観形成に向けて照らすべき対象物の抽出とコンセプトの考え方を示し、実現に向けた基本的な照明計画を行います。水と光の相性はとても良く、これらの景観要素を活かして街づくりにおける先導的な景観形成の役割を担い、次世代の「水都とくしま」を印象づける、魅力ある夜間景観の創出を目指します。

徳島市における街の景観や歴史・文化の本質的価値



吉野川・眉山

阿波藍

阿波青石

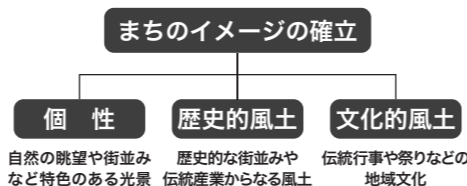
阿波おどり

藍倉・藍商人

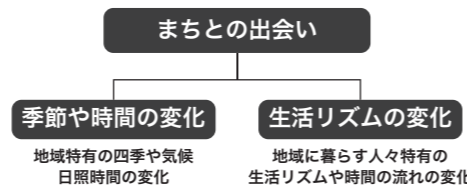
川が街を流れる景観

景観照明の役割と2つの視点

<暮らす人々の視点>



<訪れる人々の視点>



夜間景観の考え方

街へ行きたくなる”場面”づくり

夜の観光拠点となる魅力ある光景を創出し、昼間とは異なる2面性を演出することで、徳島市の魅力ある夜間景観創出に寄与します



水都とくしま

街に住みたくなる”空間”づくり

地域資源を活かして、暮らしに潤いを与える品格のある夜間景観を形成することで人々のつながりが生まれる空間づくりを目指します

徳島市の個性となる水景と街の発展を支えてきた歴史や文化を活かして多様な人々がつながる魅力ある夜間景観を目指します

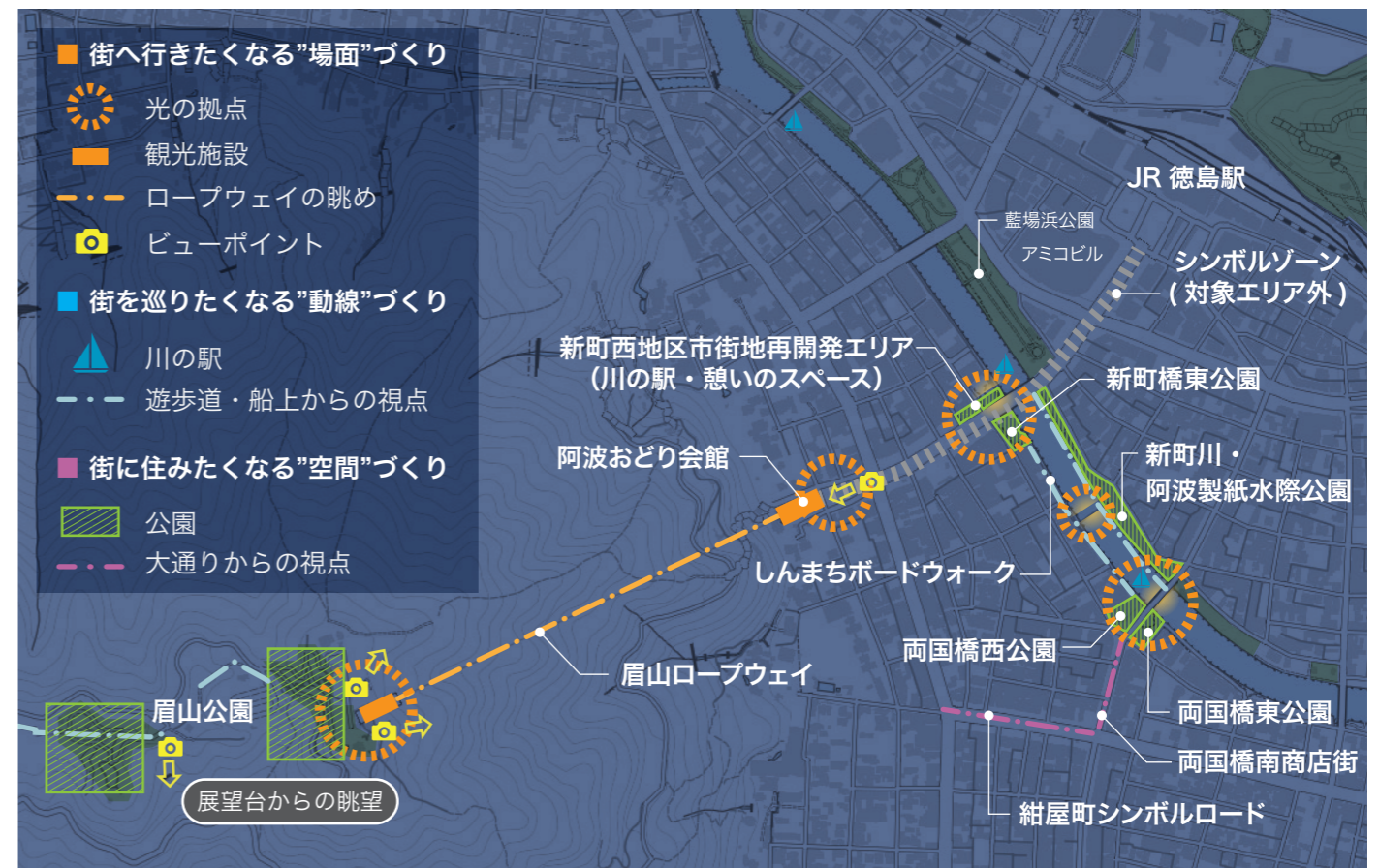
街を巡りたくなる”動線”づくり

水辺の散策道や繁華街、阿波おどり会館を起点に眉山公園へつながる夜のルートを確認することで、街を巡りたくなる光環境を目指します

イノベーション（価値の創造）

地元企業等と連携してクオリティの高い光環境を創出することで徳島市のブランド力を高め、中心市街地の再生を図ります

徳島市 中心市街地における光環境ゾーニング



対象エリア

- ・阿波おどり会館
- ・眉山ロープウェイ
- ・新町川・阿波製紙水際公園
- ・しんまちボードウォーク
- ・新町橋東公園
- ・両国橋西公園
- ・両国橋東公園
- ・紺屋町シンボルロード
- ・新町西地区市街地 再開発エリア（川の駅、憩いのスペース）
- ・眉山公園

対象エリアにおける夜間景観創出ポイント

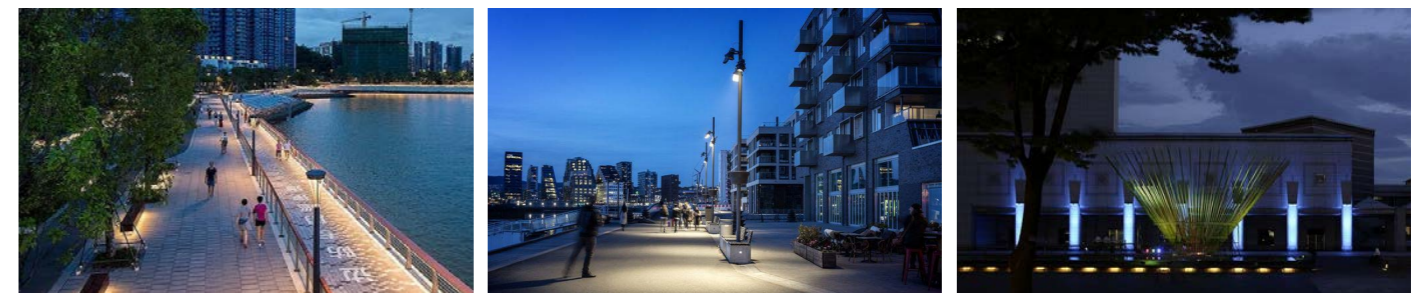
- ・徳島駅からつながる都心のにぎわいづくり
- ・誰もが分かりやすい、散策を促す動線づくり
- ・水辺、緑、歴史、文化の魅力あふれる観光交流拠点づくり
- ・コミュニティの活性化につながる佇みのスポットづくり
- ・「水都とくしま」を印象づける特色ある光環境づくり

対象エリアにおけるビューポイント



目指すべき光環境の3つのビジョン

徳島市が持つ自然・歴史・文化や都市景観の上位計画における位置づけを踏まえ、目指すべき光環境の3つのビジョンを示します



① 「水都とくしま」の印象を高める魅力ある夜間景観を創出

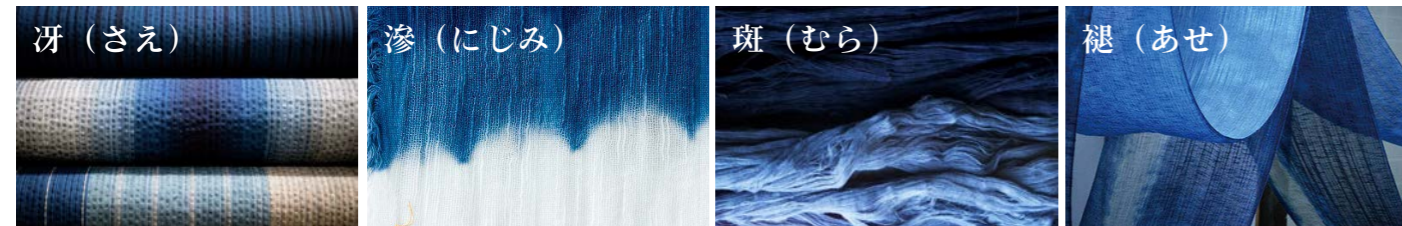
② 来訪者のための分かりやすく安心・安全な光環境を実現

③ 徳島市の魅力ある夜間景観づくりに寄与するLED景観整備を実現

LED 景観整備基本計画 全体整備コンセプト

徳島市の温もりと品格ある街の表情を魅せるため暖色光を基本としている中で、阿波藍の特徴である多彩な青の表情を徳島市全体の光環境におけるデザインコードとして展開。品格とにぎわいのある夜間景観を目指します。

多彩な色彩美を持つ阿波藍の4つの魅力



藍（青）の持つ色のイメージ

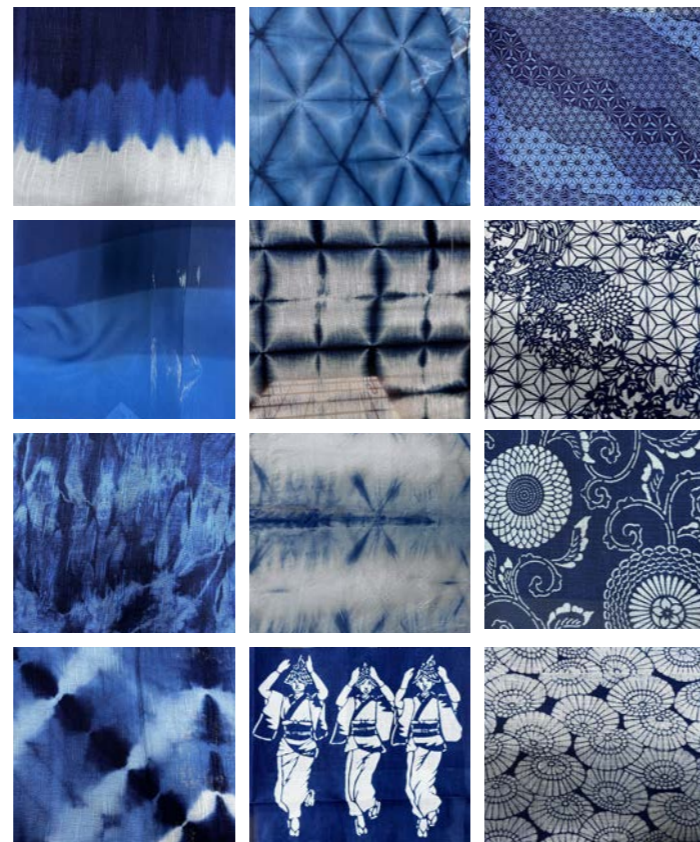
- ・青は挑戦者を表す色。青い炎は赤い炎よりも熱く、内に秘めた情熱を醒ます。
- ・青は日本の伝統色の中でも多彩な表現色がある。
- ・美しい夕景や夜空、暮らしの中で人が自然に感じる光
- ・白色LEDの染料は「高輝度青色LED」と蛍光体。NICHIAの開発成功により実現
- ・阿波藍の染め方（技法）により表情が変わるように、照明手法（光の反射方法）により様々な照明効果をつくり出すことができる。



■ 藍の伝統色



■ 阿波藍の色・柄



LED 景観整備基本計画 デザイン方針

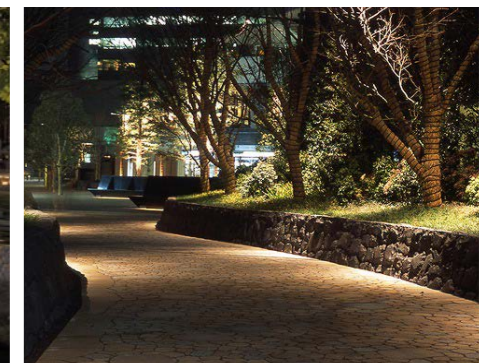
- ・通りや遊歩道、河川、橋、ランドマークなど街全体を俯瞰的な視点で捉える
- ・エリアを分けるのではなく、街が一体となるように街の骨格や動線を明確に示す
- ・連続した光の繋がりにより、誰にでも分かりやすい夜間景観を創出する
- ・水辺の演出を積極的に展開し、水都を印象づける光環境を優先して整備する（効果大）
- ・徳島市民の温もりと品格ある街の表情を魅せるため、暖色光を基本とする
- ・日常の暮らしの中に藍／青を添える（徳島市のアイデンティティカラー）
- ・年間数日のハレの日には、共通テーマに基づいた多彩な色を展開し、特別な夜を演出する
- ・照明器具は可能な限り、目立たないように設置する
- ・街路照明はシンプルな形状を基本とし、デザインの経年劣化を防ぐ



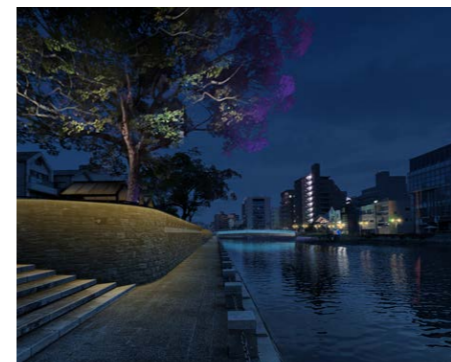
街を俯瞰的な視点で捉える



河川など街の骨格を明確に示す光



連続した繋がりを生む動線の光



水都を印象づける光環境



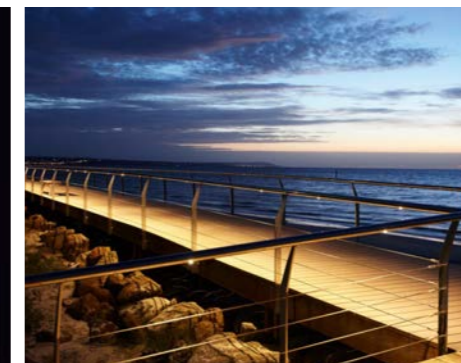
街に品格ある表情を与える暖色光



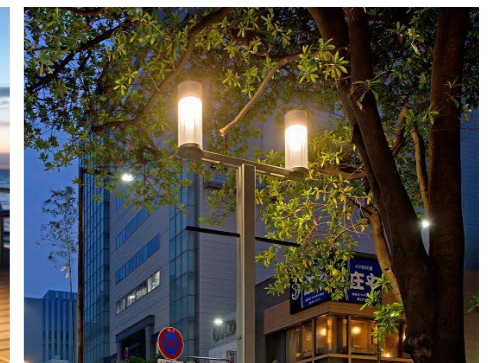
暮らしに藍／青を添える光



共通テーマに基づいた光色を展開



景観材に取込む目立たない照明



シンプルな形状の街路照明

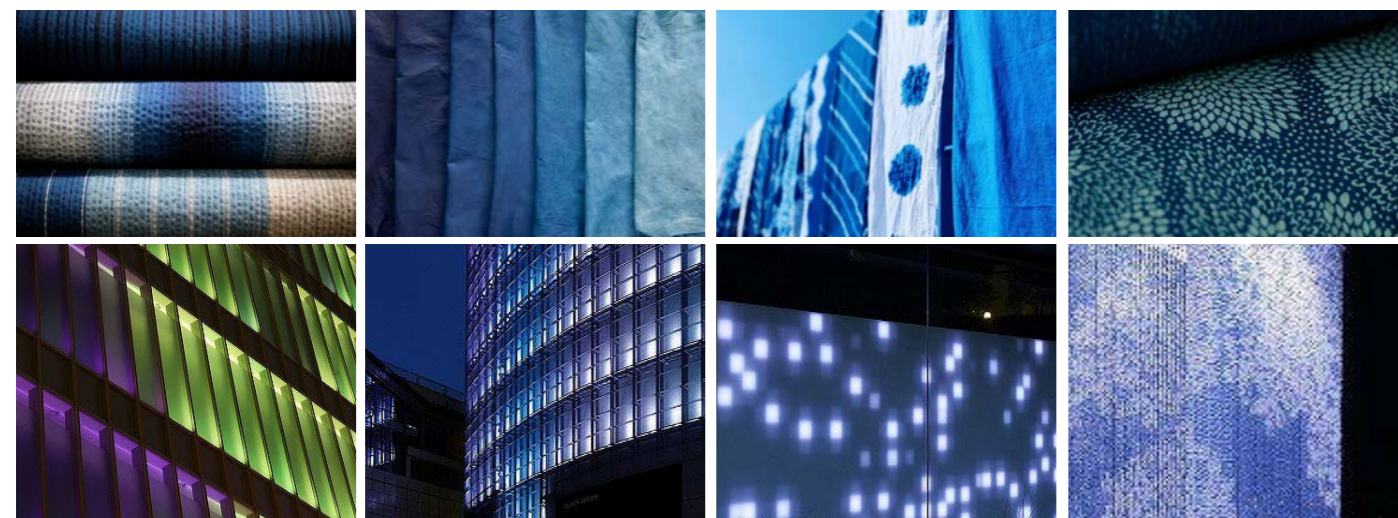
阿波おどり会館 外観照明イメージ



■阿波おどり会館 照明整備コンセプト

カーテンウォールの外観を活かして藍色／ブルーを基調とした照明演出を展開。藍の伝統色には様々な色彩があり光のコントラストやグラデーション、高度なプログラム制御により、阿波藍をイメージする穏やかな色変化、明暗による斑の表現など、先端LED技術を用いた品格のある美しい表情を演出。加えて、阿波おどり会館の屋上を活かし、眉山公園を結ぶロープウェイをライトアップすることで、徳島市のランドマークとなる印象的な光景を創出します。

■阿波藍と光のインスピレーション



阿波おどり会館 照明演出イメージ



日常の暮らしの中に藍／青を添える演出や、ハレの日にはテーマに基づいた色のシーンを展開し、特別な夜を演出する

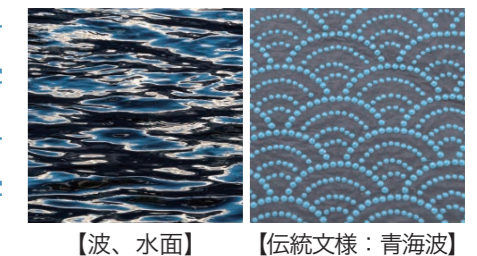


展望台へ向かう期待感を高める照明演出 屋上から背景の眉山を照らすライトアップ 施設サイン：箱文字サイン+投光照明 遠景からの視認性を高める内照式サインを提案

施設屋上サイン（デザインパネル+内照式サイン）



パターンのインスピレーション



緩やかな水面をイメージしたパネルデザイン

歴史ある阿波おどりが未来まで続くように伝統文様の青海波（せいがい）をシンプルにアレンジし、全体で上下方向にリズムのあるグラデーションを施すことで藍染のにじみを表現。また、線幅の異なる2本の曲線で構成したモチーフは、阿波おどりを象徴する鳥追い笠や市章の上部のデザインを取り入れ阿波おどり会館だけのオリジナリティを演出します。

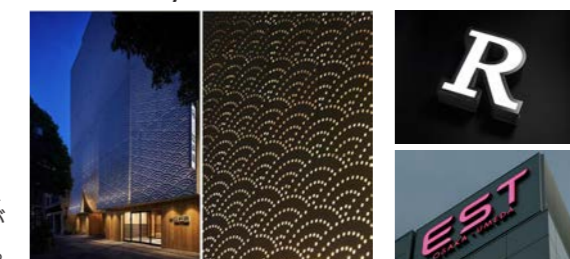


施設名書体：AP-OTF A1 ゴシック StdN

阿波おどり会館
AWAODORI HALL

ゴシック体のすっきりとした視認性を持ちつつ、線の交差部分の墨だまり表現や僅かな角の丸みが全体に温かみのある穏やかな印象を与えます。

アルミパネル / パターン抜き加工 内照式サイン



ステンレス製 正面発光
チャンネル文字 フレーム付
最大文字高 2000mm
屋外（防水）対応
材質 ステンレス、アクリル

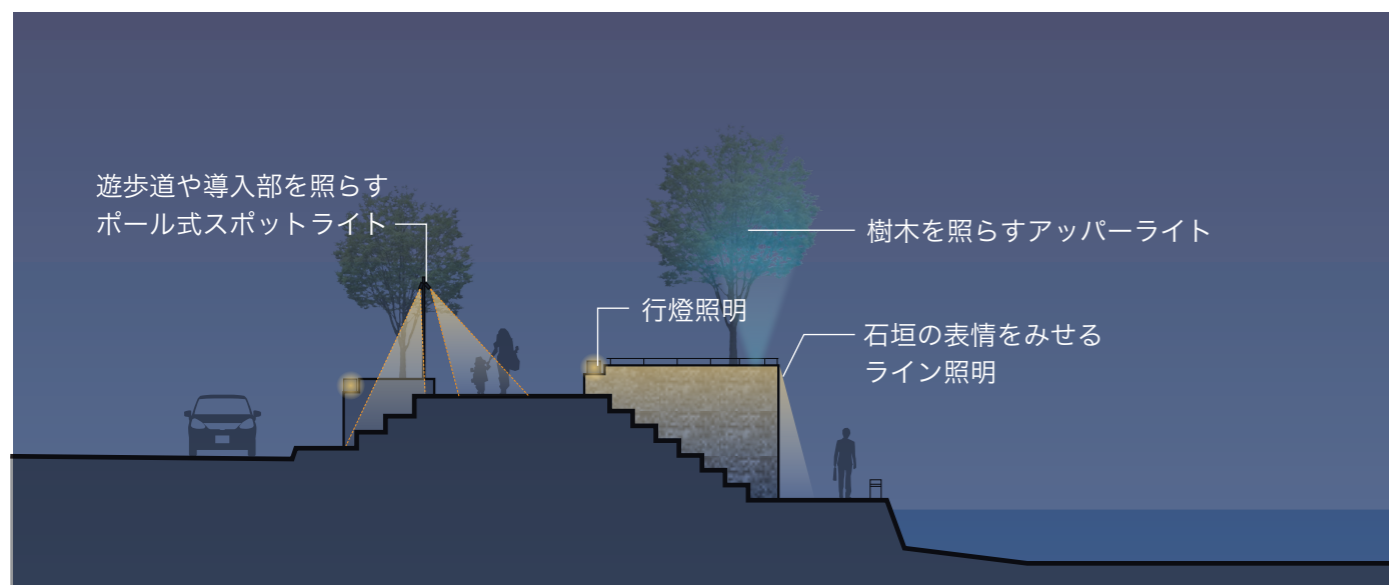
新町川・阿波製紙水際公園 照明イメージ



■新町川・阿波製紙水際公園 照明整備コンセプト（遊歩道・石積み・川面等）

新町川・阿波製紙水際公園は阿波青石を用いた石積みの表情を連続的に照らすことで、水辺の遊歩道や階段などの動線を明確に示します。また、高木の緑の表情や水盤施設の周辺を照らす光を加えることで公園内に視覚的な明るさ感を与え、水辺の潤いと佇みのある空間を演出します。

新町川の水面には、これらの表情や散策を楽しむ人々の姿が映り込み、水都とくしまを印象づける魅力ある夜間景観を創出します。

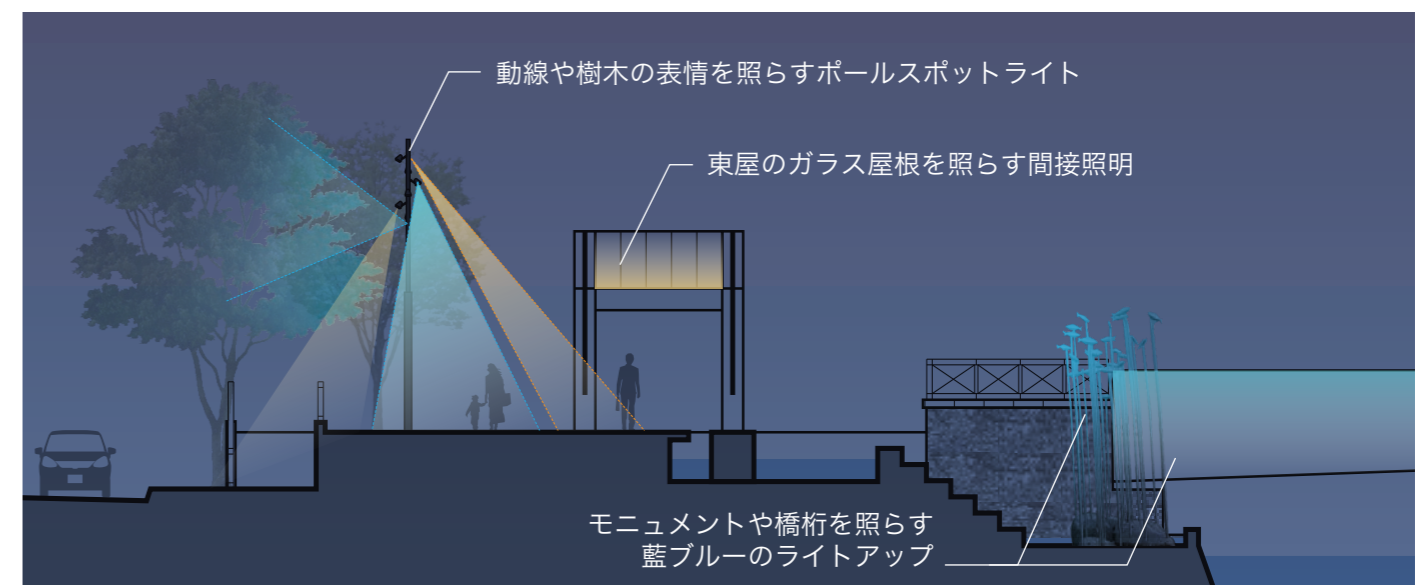


新町川・阿波製紙水際公園 照明イメージ



■新町川・阿波製紙水際公園（東屋・並木・ステップ広場・モニュメント等）

藍倉をモチーフとした東屋や園路沿いの並木、ステップ広場が特徴的な親水空間は、市民や来訪者が夜間も安心して回遊できるように視線誘導の光を連続して配置することで公園内の動線を明確に示します。また、並木の緑の表情や東屋のガラス屋根を照らす光が視覚的な明るさ感を与えることで、水辺の心地良い親しみを感じる光環境を演出。東屋の支柱照明・モニュメント・ふれあい橋の橋桁を活かして、藍ブルーの光をアクセントとして展開し、水都を印象づける演出を展開します。これらの光が水盤や川面の水鏡効果を高めることで、水辺の潤いと佇みの空間を創出します。

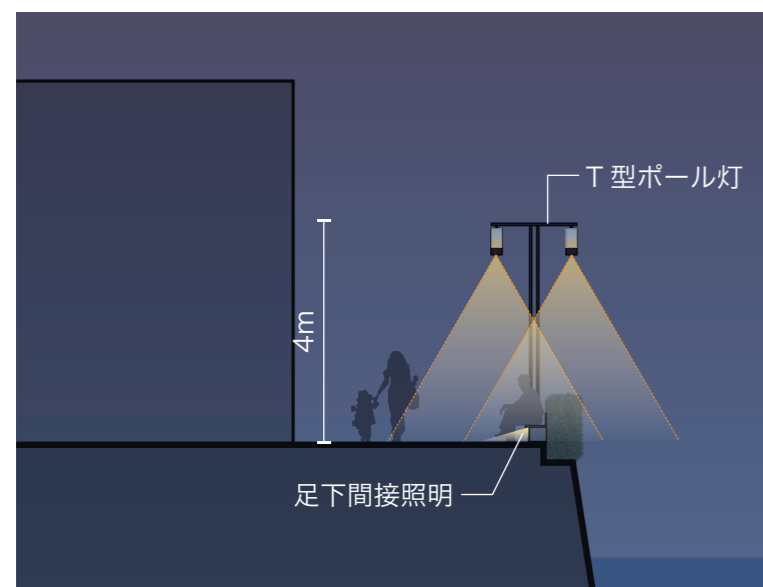


しんまちボードウォーク 照明イメージ



■しんまちボードウォーク 照明整備コンセプト

ボードウォークの温もりとロングベンチの特徴を活かして、水辺の心地良い佇みの空間を創出します。老朽化した既設の街路灯は器具を更新し、シンプルなT型形状のデザインを取り入れた2灯式の灯具を配置します。片側はボードデッキの遊歩道を照らし、川側は水際の擁壁を照らすことで、新町川のウォーターラインを際立てながら河川の軸線を示すことで、対岸から見る・見られるの關係に配慮した夜間景観形成を図ります。ボードウォーク沿いのロングベンチや手摺には、足元を照らすライン型の間接照明を連続して組み込み、ウッドデッキの温もりを感じて新町川の水景を眺められる、落ち着いた光環境を創出します。

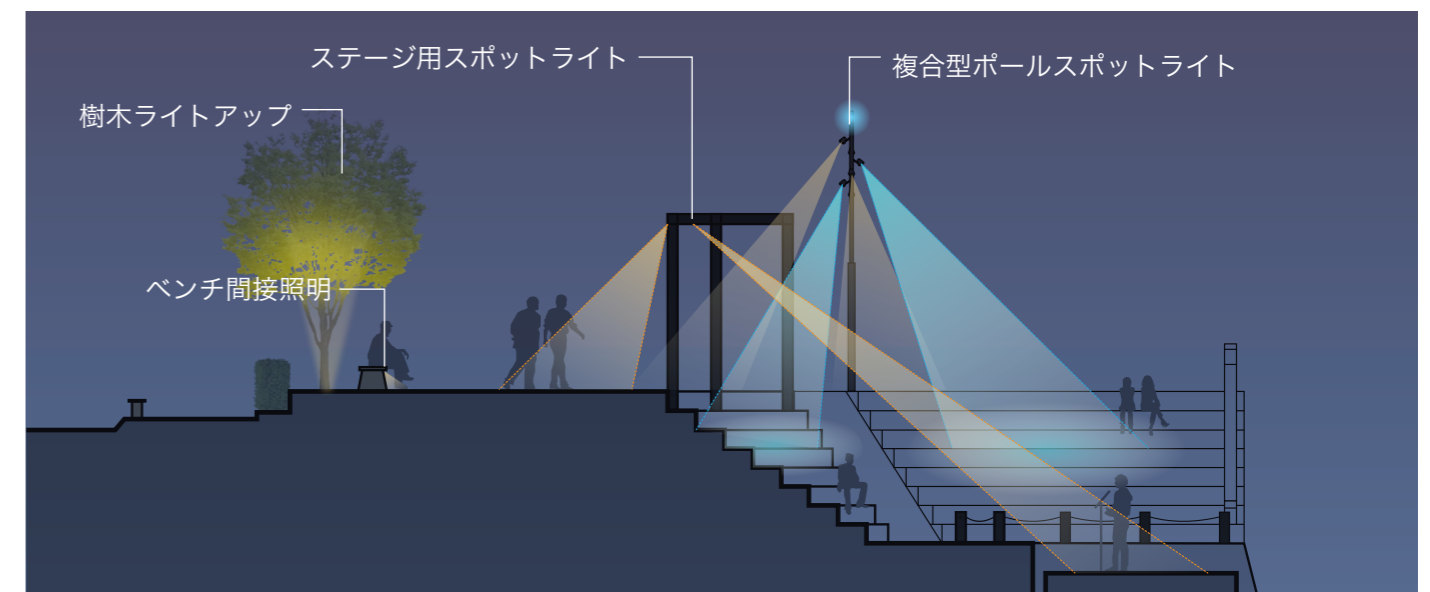


新町橋東公園 照明イメージ



■新町橋東公園 照明整備コンセプト

すり鉢状のステージが特徴的なボードウォーク公園は、新町橋からのアプローチとなる光の拠点をつくり市民や来訪者に親しみやすい、にぎわいのある光環境を創出します。複合式ポールスポットライトを配置することで、広場全体の基本的な明るさを確保すると共に、ステージや階段ベンチを含めたイベント対応のカラー演出にも展開できる照明を取り入れます。その他、周辺ベンチの間接照明や樹木の表情を照らすアップライトを配置して、憩いのための空間演出を行います。



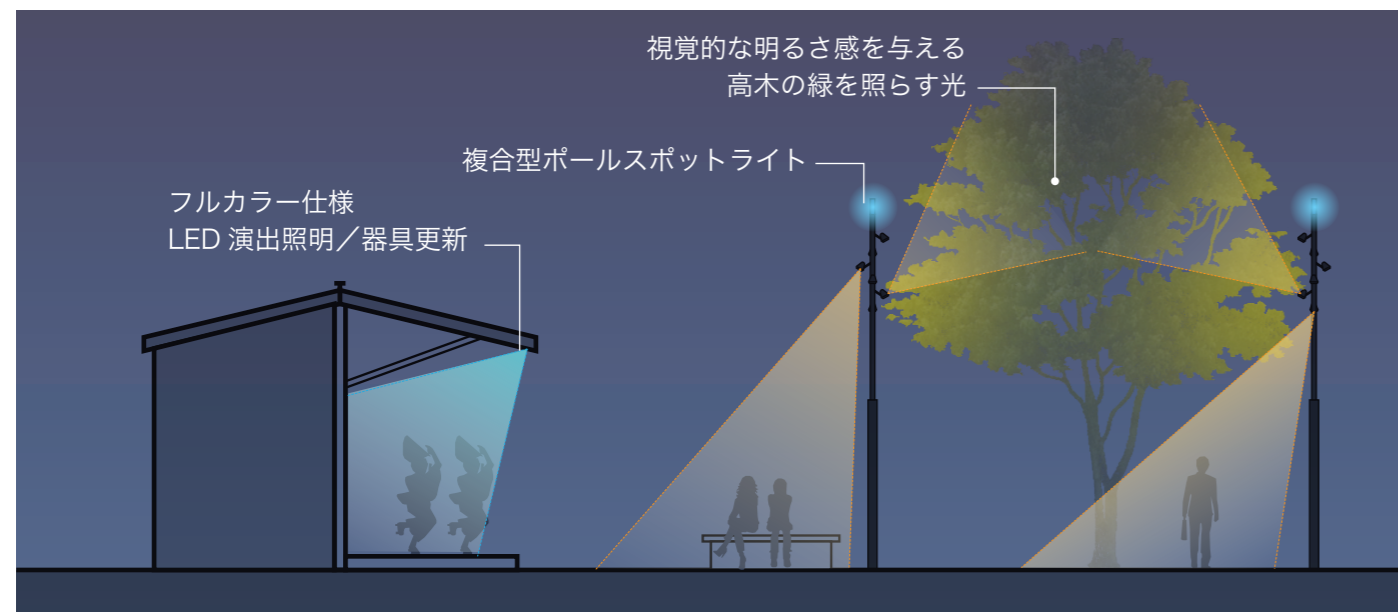
両国橋西公園 照明イメージ



■両国橋西公園 照明整備コンセプト

公共トイレ機能も有するステージが特徴的な両国橋西公園は、観光や暮らしの拠り所となる光環境を整備することで夜の憩いの場を提供し、誰もが集まりたくなるスポットを演出します。

公園内には、複合式ポールスポットライトを配置して広場全体の基本的な明るさを確保すると共に、夜間は影となる高木の緑を照らすことで視覚的な明るさ感を与えます。その他、ステージ屋根の老朽化した照明器具は阿波おどりや様々なイベントに対応できるようにフルカラー仕様のLED演出照明に更新します。

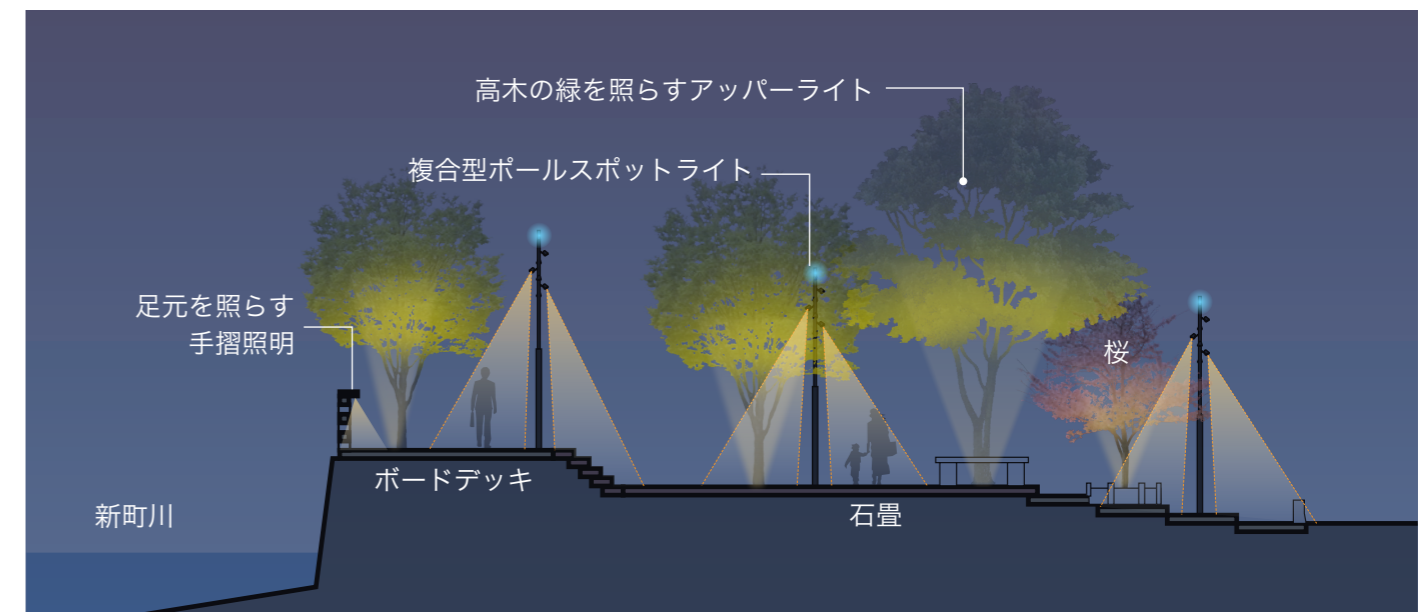


両国橋東公園 照明イメージ

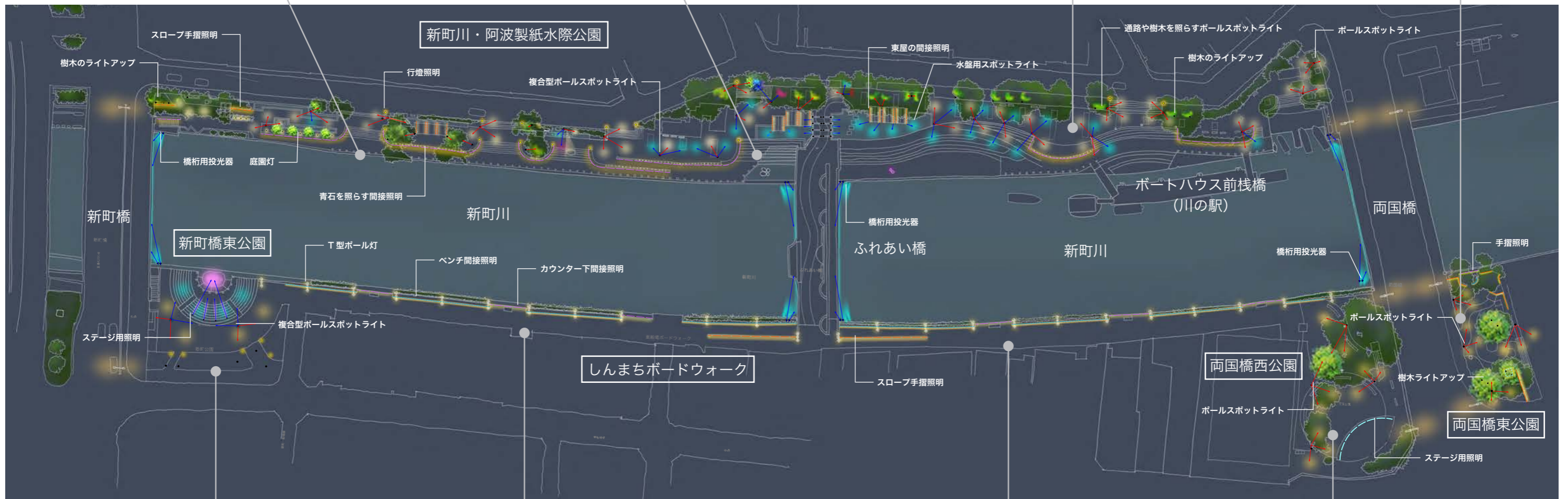


■両国橋東公園 照明整備コンセプト

桜や楠の木が特徴的な両国橋東公園は、高木の緑や石畳の表情を照らすことで、通りを挟んだ西公園と一体となる、両国橋や商店街へつなげる光環境を創出します。新町川沿いのボードデッキは、階段やスロープの足元を照らす手摺照明を配置して、川沿いの公園立地を活かした新町川を眺められる光環境を計画します。広場全体は、両国橋西公園と同様に、ポールスポットライトを配置して基本的な明るさを確保することで誰もが集まりたくなるスポットを演出します。



新町川沿い 照明計画イメージ

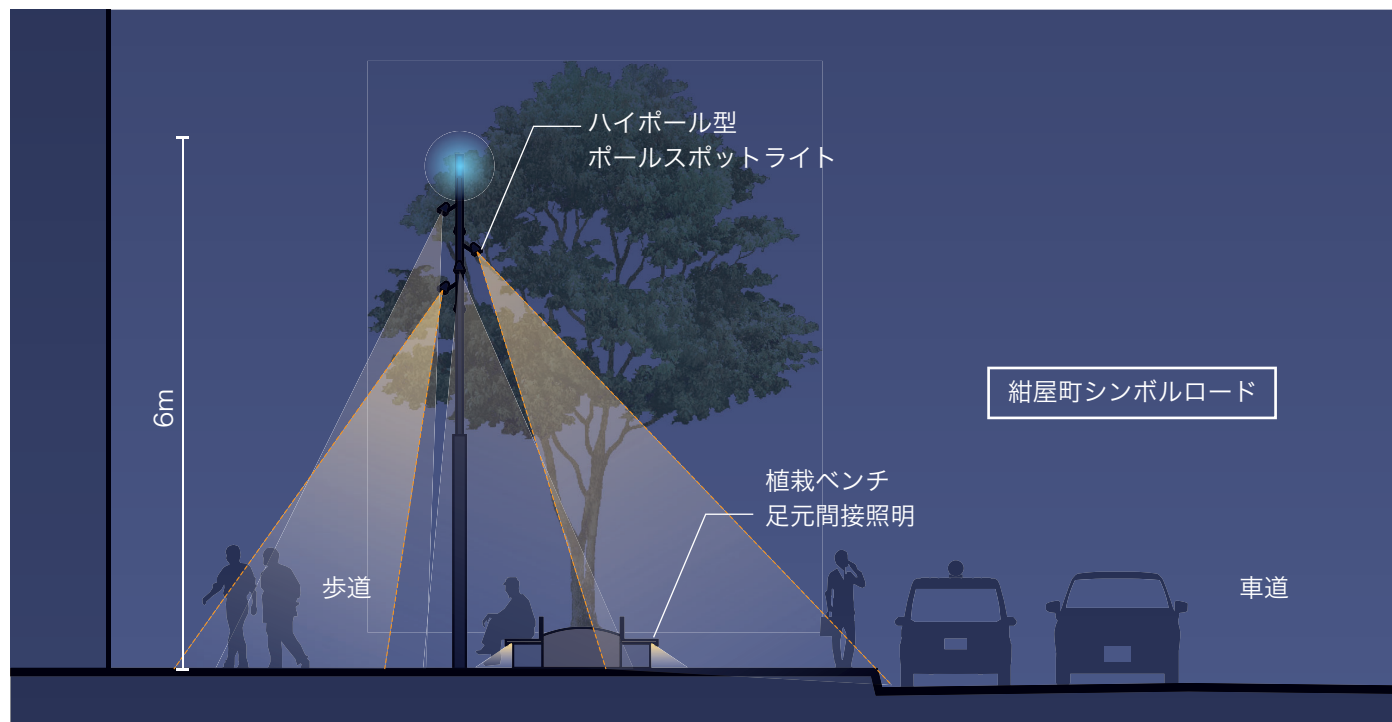


紺屋町シンボルロード 照明イメージ（夜景）



■紺屋町シンボルロード 照明整備コンセプト

歩道の幅員が広く並木が特徴的な紺屋町シンボルロードは、繁華街の中央を通る歩道の軸線やバス停・タクシー乗場など通りの機能に応じて光をフレキシブルに配置できるハイポール型のポールスポットライトを配置します。また、歩道面の老朽化が進んでいるため、歩行者の安全やバリアフリーの観点からも一体的な街路整備が望まれます。現在、景観アスファルト舗装の技術も進歩しており、照明やベンチなどの整備とあわせたトータルデザインを行います。



街路・舗装改修イメージ（昼景）



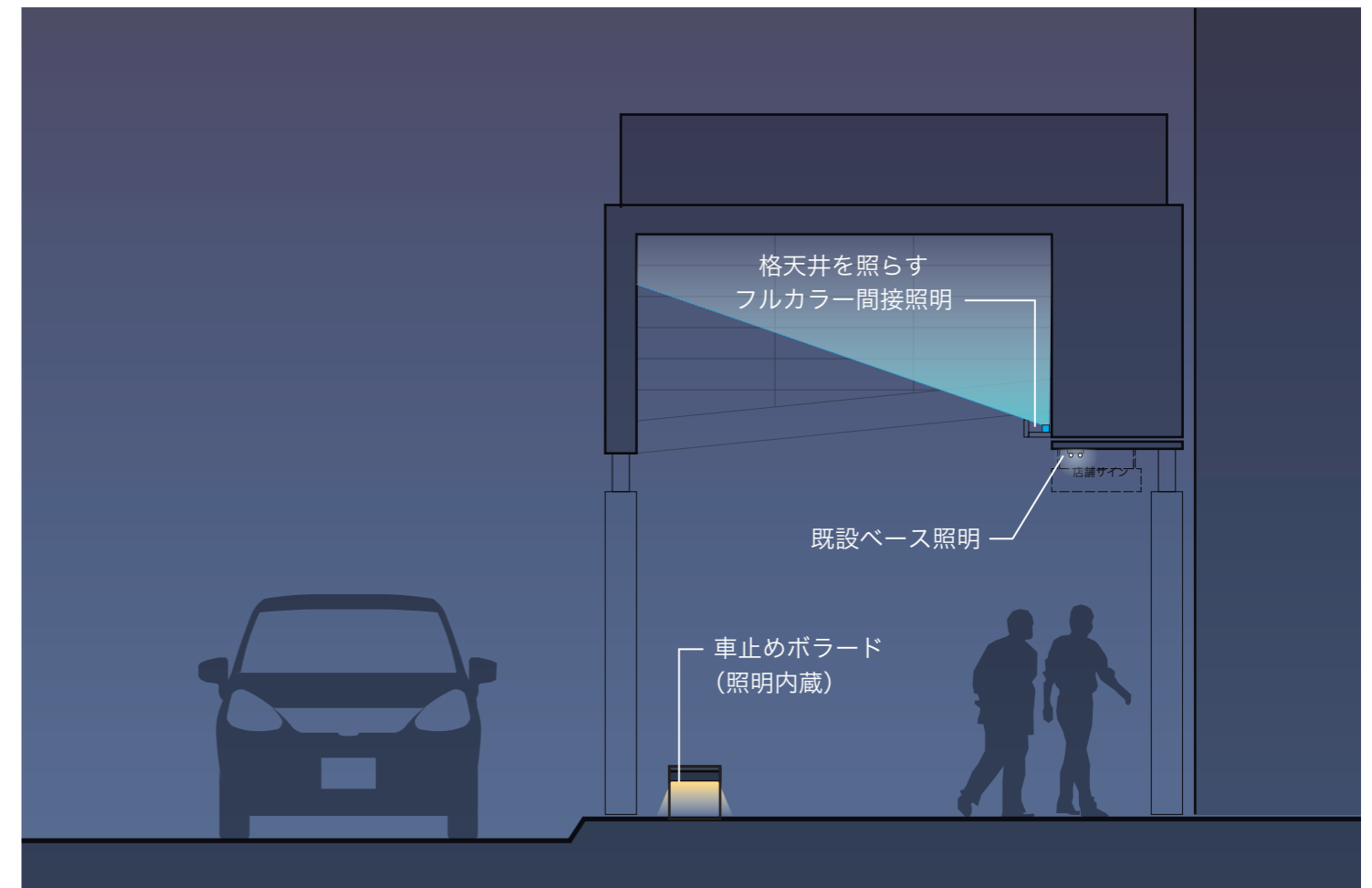
■景観アスファルト工法／ストリートプリント

SR サンドストーン	SR ライムストーン	ピューター
SR カーキ	サンディベージュ	トラッフル
オリーブ	ダウントゥアース	モカ

ストリートプリント

ストリートプリントとは既存のアスファルト舗装の表面そのものを石畳やレンガ敷きのように変えてしまう画期的な工法です。日本・カナダ・アメリカ・ヨーロッパ・アジアなど世界50ヶ国で使用されている景観アスファルト工法です。アスファルト舗装は初期工事費が安い、工期が短い交通開放が早いなど数々の優れた長所を持ち合わせていますが、見た目が黒単色で殺風景、また、劣化しやすいという2つの大きな難点がつきものです。ストリートプリントは2つの難点を劇的に解消し見た目が美しく、耐久性に優れたアスファルト舗装を作り出すことができる付加価値の高い工法です。

両国橋商店街 照明イメージ



■両国橋商店街 照明整備コンセプト

アーケードにおいて、格天井や天窓と漆喰調の越屋根部が情緒豊かな和の雰囲気醸し出しています。照明デザインは格天井の屋根形状を活かした間接照明によりアーケードの連続的なつながりと賑わい感を演出。フルカラー LED 仕様の間接光により、閉店後には藍色 / ブルー基調の演出に変化する光環境を創出します。歩道と車道との境界には、現状の車止めボラードを見直して、照明を適所に配置することで通りへの駐輪防止を促し地域コミュニティの憩いのスポットとして活用できる空間づくりに役立ってます。

■照明演出プログラム イメージ



阿波藍 色変化シーン



阿波おどり「祭り」特別シーン



現況写真 昼間：自転車の駐輪が多い



現況写真 夜間：ベース照明点灯～20時



現況写真 夜間：20時以降～照明消灯

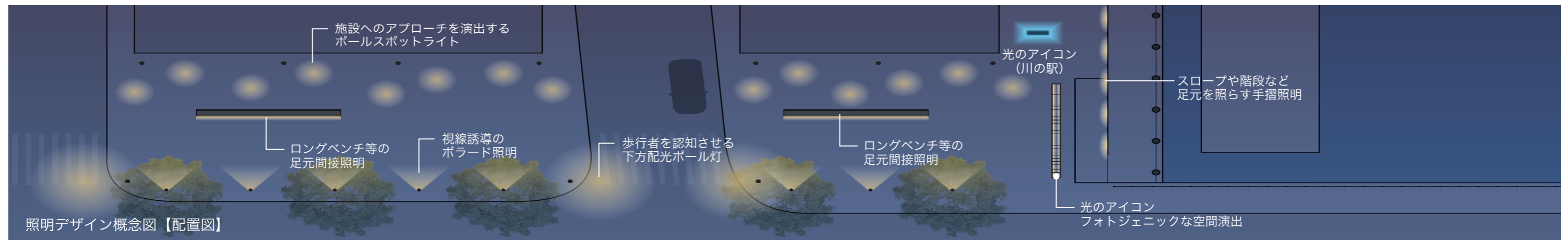


閉店後は藍色 / ブルー基調の演出



深夜は車止めボラードの光が常夜灯として残灯

新町西地区市街地再開発エリア 照明デザイン概念図



■新町西地区市街地再開発エリア 照明整備コンセプト

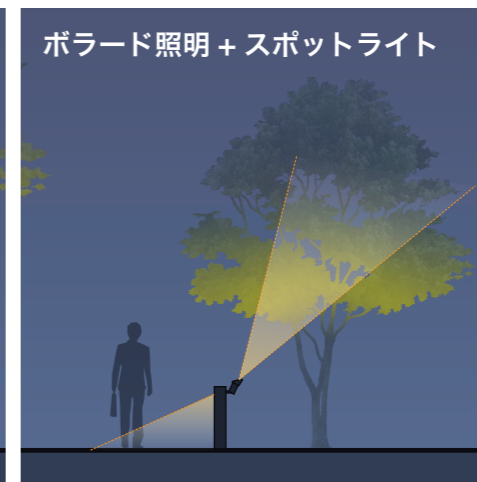
中心市街地の新たな拠点として期待される新町西地区市街地再開発エリアは地域住民や来訪者が親しみを感じられるようにロングベンチやポラード照明など低い位置の光を重点的に配置することで憩いの場となる落ち着いた光環境を創出します。
 夜間コンテンツとして期待できる川の駅ネットワークは、各駅がどこにあるか誰もが分かりやすいように共通した光のアイコンを設け、フォトジェニックな照明演出でにぎわいを創出します。



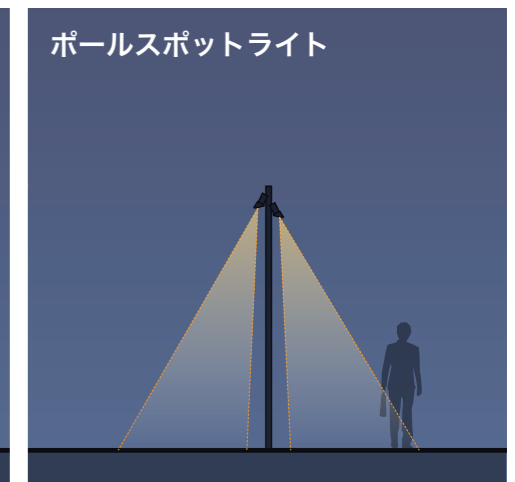
フォトジェニックな照明演出



ポールスポットライト



ポラード照明+スポットライト



ポールスポットライト

憩いの場となる落ち着いた光環境



イメージ

低い位置の光を重点的に配置

ポールスポットライトの照明効果



イメージ

阿波藍の織模様など光のパターン投影が可能

光のアイコン(川の駅)

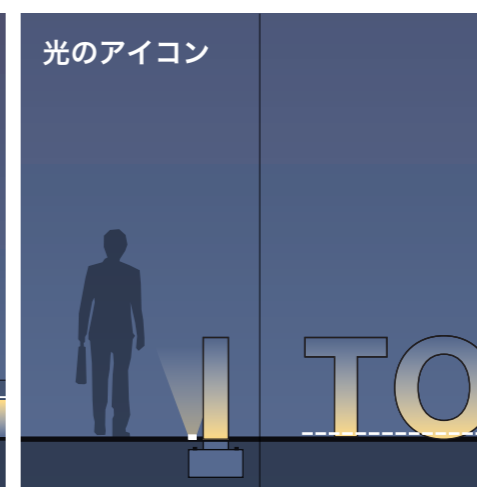


イメージ

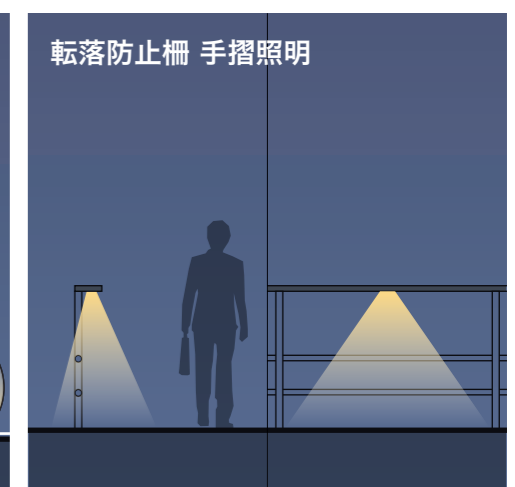
色柄の繊細な表現



ロングベンチ足元間接照明



光のアイコン



転落防止柵 手摺照明

眉山公園 照明イメージ

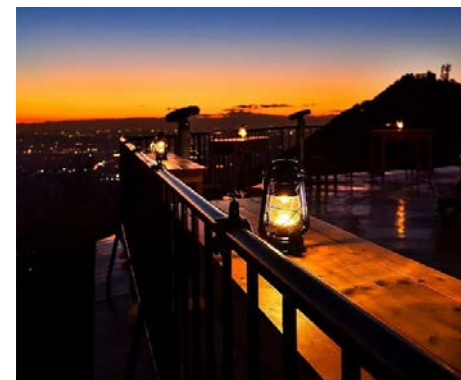


■眉山展望台・眉山公園 照明整備コンセプト

駐車場から展望台への動線を明確に示すことで来訪者が安心して登れる光環境を創出します。遠景からのランドマークとなる眉山山頂の鉄塔や園路沿いの樹木や花のカスケードを活かした緑の表情を多く取り入れることで、来訪者が山頂からの眺望を楽しめ、夜もロープウェイを利用して展望台へ行きたくなるような光環境を演出します。



展望台



展望台へ行きたくなる雰囲気づくり

花のカスケード



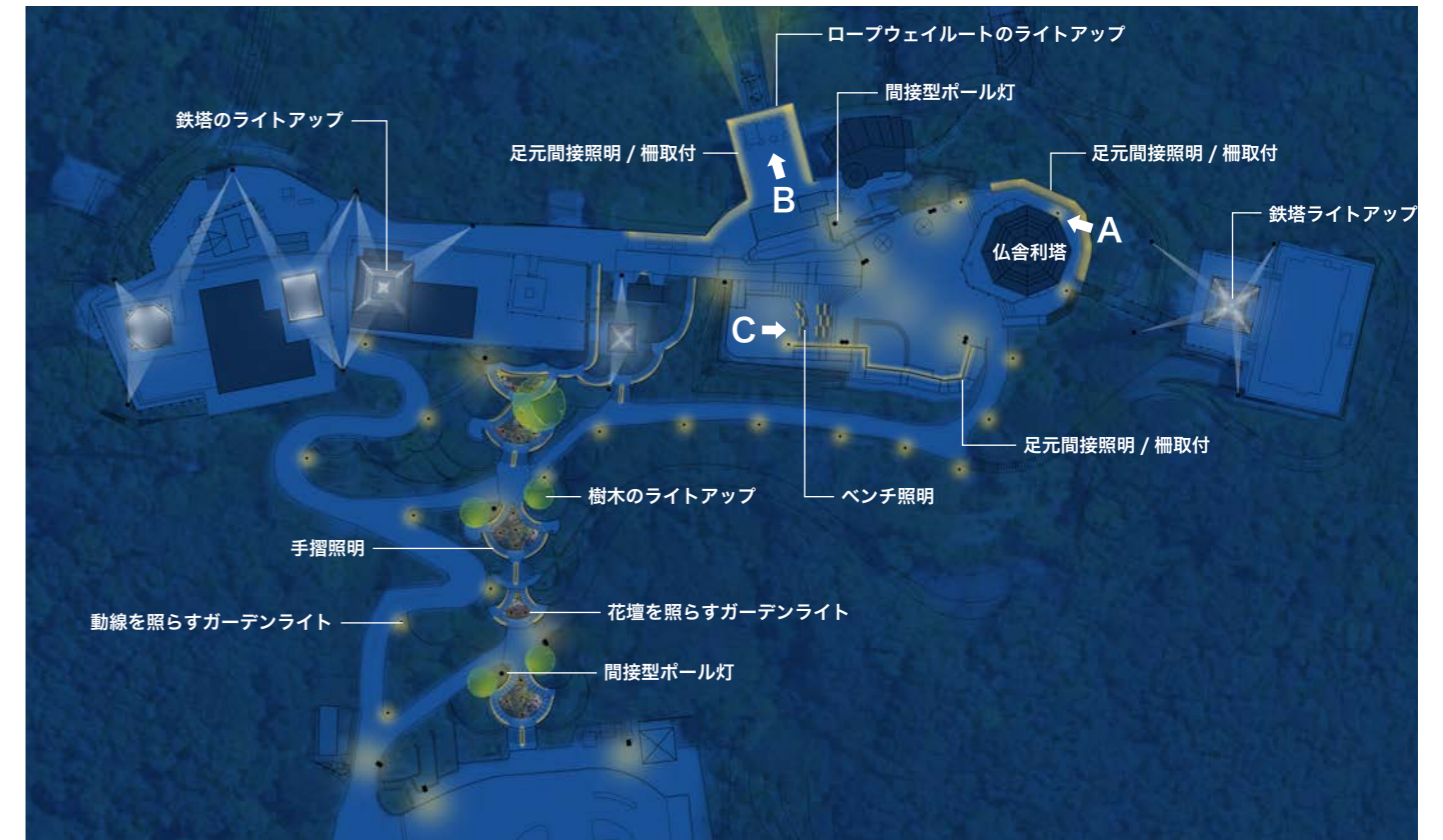
花や緑の表情を活かした光環境づくり

山頂の鉄塔ライトアップ



遠景から見る視認性の高いライトアップ

眉山展望台・眉山公園 照明計画イメージ



足元を照らす手摺照明



足元を照らす手摺照明



階段ベンチ間接照明イメージ



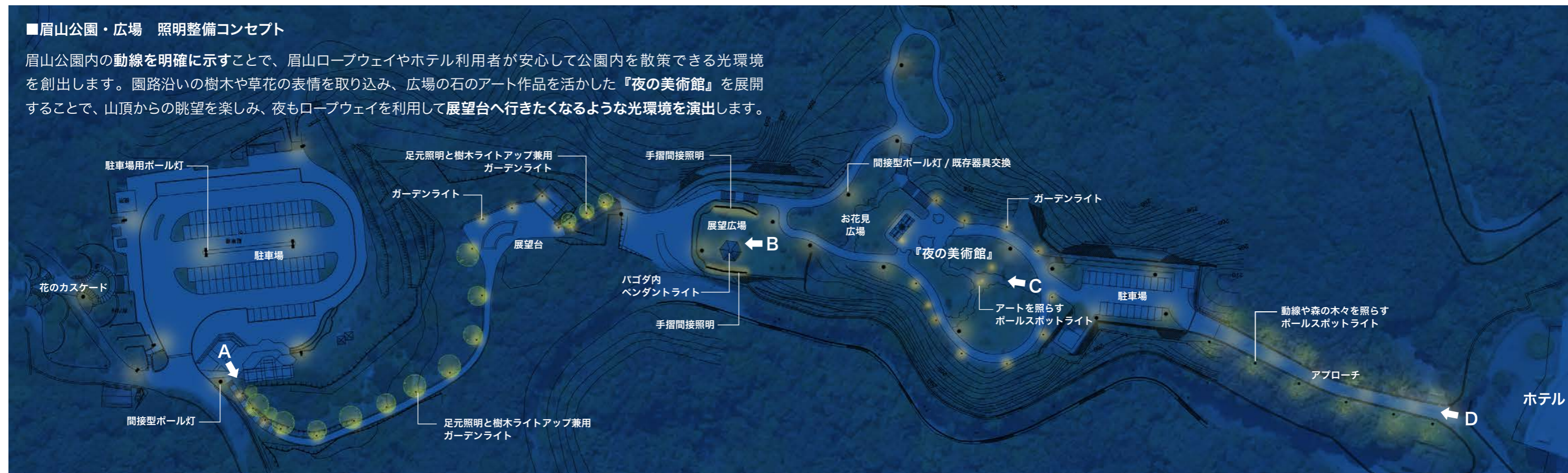
階段ベンチイメージ

Victoria on the River (New Zealand)

眉山公園 照明計画イメージ

■眉山公園・広場 照明整備コンセプト

眉山公園内の動線を明確に示すことで、眉山ロープウェイやホテル利用者が安心して公園内を散策できる光環境を創出します。園路沿いの樹木や草花の表情を取り込み、広場の石のアート作品を活かした『夜の美術館』を展開することで、山頂からの眺望を楽しみ、夜もロープウェイを利用して展望台へ行きたくくなるような光環境を演出します。



眉山公園 照明イメージ



計画の推進

・徳島市では、「徳島市中心市街地活性化基本計画」に「LED が魅せるまち・とくしま推進事業」を位置付け、光に彩られた水都を創造し、夜間にまち歩きを楽しめる環境を整備することを目指している

・本計画は、その実現に向けた夜間景観創出の整備コンセプトを定めており、今後の整備に当たってはデザイン方針など本計画を踏まえるとともに、次の点に留意して整備等の効果的な推進を図る

①徳島市は、「SDGs 未来都市」として、「ゼロカーボンシティ」宣言をしており、採用する照明器具や適切な制御など環境に配慮した照明とすることが重要である

- 照明計画：最少の器具で最大の効果を目指し、省エネや耐久性に優れた照明器具を採用
- 照明制御：遠隔管理や将来整備にも対応できる拡張性のある照明制御システムの適宜採用を検討

②照明は本計画を実現するために「光の質」「光の機能」にこだわった LED を用いることとし、徳島市のブランド力を高める光に彩られた水都の創造に向けた光環境の整備を進める

- 動作が確実で長期間安定して作動するなど安心で高品質な製品とする
- 高効率専用電源、最高品質の LED チップを有するなど運用や維持管理を見据えた照明器具を採用する

③照明制御はまち一体となった演出などイベント等での活用を図り、まちににぎわいと活力をもたらす

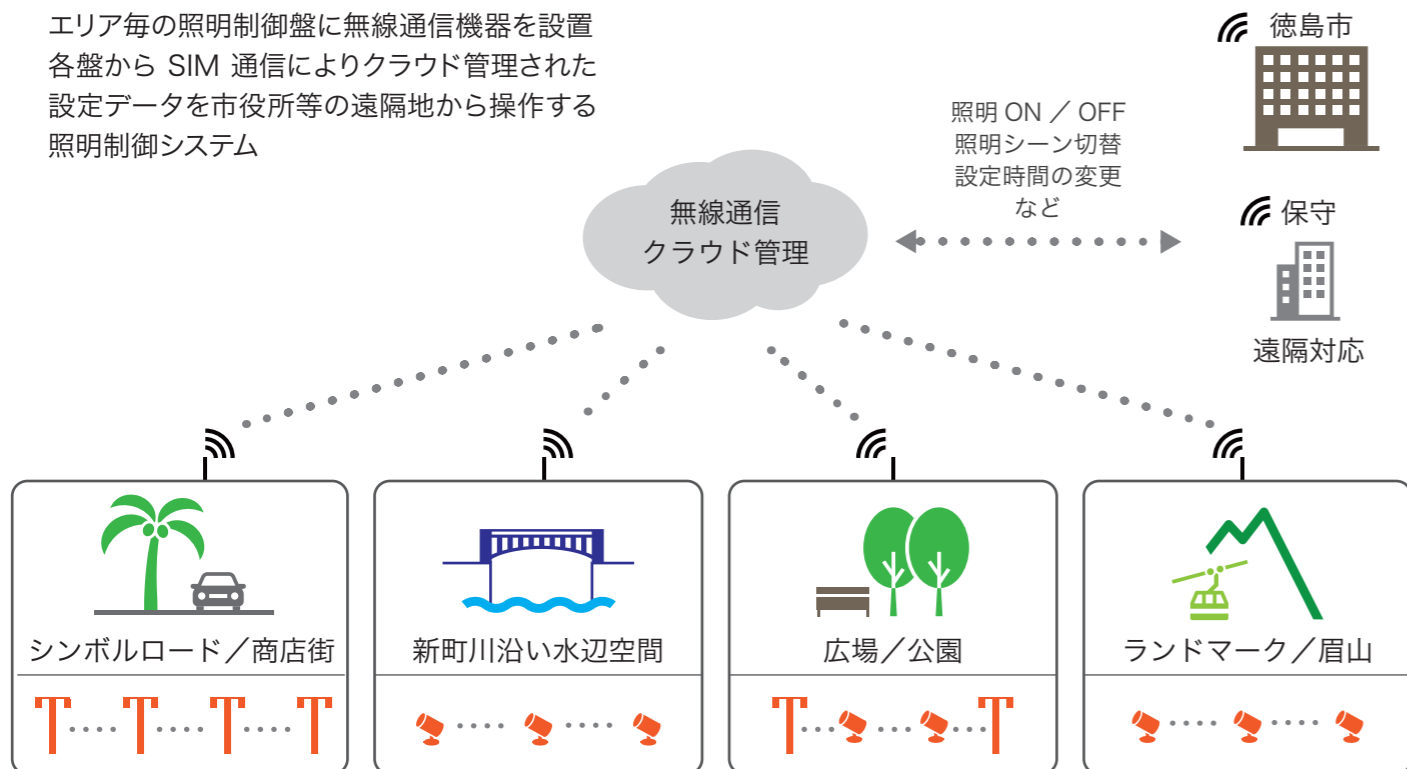
- 照明制御システムを導入する場合は、各施設間での連携を図るために互換性のあるものとする一方で、制御システムの統一的な運用を目指す

④LED 景観整備時や整備後においては、国、県、企業や関係団体など官民が連携することで、財源の確保に努めて事業の見通しを立てるとともに、徳島市の特性を生かし魅力あるまちづくりや、個性ある中心市街地を創出しにぎわいづくりに資するよう取り組む

遠隔管理や将来整備にも対応できる拡張性のある照明制御システム（イメージ）

<遠隔照明制御の考え方>

エリア毎の照明制御盤に無線通信機器を設置
各盤から SIM 通信によりクラウド管理された
設定データを市役所等の遠隔地から操作する
照明制御システム



整備スケジュールの検討

年度	令和6年度												令和7年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
阿波おどり会館																								
眉山ロープウェイ																								
眉山公園																								
しんまちボードウォーク (新町橋東公園、両国橋西公園、 両国橋東公園を含む)																								
新町川・阿波製紙水際公園																								
紺屋町シンボルロード																								
両国橋南商店街																								
新町西地区再開発エリア																								

年度	令和8年度												令和9年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
阿波おどり会館																								
眉山ロープウェイ																								
眉山公園																								
しんまちボードウォーク (新町橋東公園、両国橋西公園、 両国橋東公園を含む)																								
新町川・阿波製紙水際公園																								
紺屋町シンボルロード																								
両国橋南商店街																								
新町西地区再開発エリア																								

徳島市中心市街地等LED景観整備基本計画

令和6年5月発行

発行：徳島市

<関連する条例及び上位計画・関連計画・ガイドライン>

- ・徳島市総合計画2021（令和3年3月）
- ・徳島市都市計画マスタープラン（令和5年3月）
- ・徳島市中心市街地活性化基本計画（令和4年4月）
- ・徳島市景観計画（平成25年3月）
- ・徳島市景観まちづくり条例（平成25年4月）
- ・徳島市風致地区内における建築等の規制に関する条例（平成27年4月）
- ・徳島市シンボルゾーン等光環境整備基本構想（平成29年3月）
- ・ひょうたん島光環境ガイドライン（平成23年6月）